

平成21年度第1回 地方分権懇話会

近年、地域が元気を取り戻すため、住民の皆様が主役となって、地域のことを地域で決める仕組みをつくる、地方分権改革やその究極の姿である道州制の導入に向けた取組が進められています。

広島県では、これからの国のあり方を決めるこの改革の実現に向けて、様々な気運醸成の取組を進めています。その一環として、広島大学地方分権・道州制研究会との共催で、県民の皆様や行政・大学をはじめとする関係者の皆様が、地方分権や道州制に関する多角的な情報を共有する「地方分権懇話会」を開催しています。

平成21年度第1回の地方分権懇話会は、読売新聞東京本社 編集委員の青山彰久氏をお迎えして、総選挙の結果なども踏まえた今後の地方分権改革の見通しなどを中心に、ご講演いただきます。

ご興味・ご関心のある方は是非ご参加ください。

《講演会概要》

主催：広島県

広島大学地方分権・道州制研究会（代表：富岡庄一 広島大学大学院社会科学部研究科長）

(1) 講師

読売新聞東京本社編集委員 青山 彰久 氏

(2) 日時

平成21年10月7日（水）15：00～16：30

(3) 講演テーマ

「地方分権改革はどこへ向かうか ～新政権の行方と地方の責任～」

(4) 会場

広島大学東千田キャンパス大講義室（定員250名）

（広島市中区東千田町 1-1-89）

※構内に駐車できませんので、公共交通機関をご利用ください。

講師略歴

青山 彰久 氏

読売新聞東京本社編集委員
横浜支局、北海道支社、地方部を経て、1998年から解説部次長、2007年から編集委員。地方自治、地方財政、分権改革などを担当
著書に「よくわかる情報公開」（法学書院）、「住民による介護・医療のセーフティーネット」（東洋経済新報社・共著）など

《参加申込み方法》

裏面の申込書に記入し、9月30日（水）までにファックスまたは電子メールでお申し込みください。

また、申込書は下記からダウンロードすることもできます。

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/category/1246433117996/index.html>

※ 整理券等はありません。定員到達後に申し込まれた方には、事務局からご連絡させていただきます。なお、申し込みをされていない方も、当日の入場は可能ですが、立席になる場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせ、お申し込みは

広島県企画振興局政策企画部分権改革課 松森、藤井

TEL 082-513-2411 FAX 082-212-4025

メールアドレス kibunken@pref.hiroshima.lg.jp

※懇話会の概要は広島県ホームページをご覧ください

（トップページ ⇒ 「県政情報」 ⇒ 「分権改革」 ⇒ 「講演・シンポジウム」）

